

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校2年社会 解答及び配点一覧 No.1

※文章記述については、同じような意味であれば可とする。

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1 20点	(1)		①	技能			○グラフから赤道付近の気候の特色を読み取り記述している。 ・記号：D ・ <u>ア</u> は、赤道付近に位置しており、高温で降水量が多くなっている。	3
			②	技能			○グラフから南半球の気候の特色を読み取り記述している。 ・記号：B ・ <u>イ</u> は、南半球に位置しており、夏の気温が低くなっている。	3
	(2)		③	技能			○資料から貿易面での結び付きについて、記述している。 ・輸出入とも、中国をはじめとするアジアが占める割合が高くなっている。	3
	(3)		④	技能			○資料から「アジア」を読み取り答えている。 ・アジア	4
	(4)	①	⑤	知識理解			・多文化	3
		②	⑥	思考判断表現	○多文化国家を支える取り組みについて簡条書きで1つ答えている。 ・英語以外の言語によるテレビ放送 ・英語以外の外国語教育の推進 ・先住民の先住権や居留地域の所有権を認める。	2	○多文化国家を支える取り組みについて具体的に記述している。 ・移民の人たちに向けて、さまざまな言語での番組を製作・放送している ・移民の多い国や地域の文化を紹介する番組の放映が行われている 等	4
2 18点	(1)		⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	知識理解			①太平洋 ②日本海 ③択捉島 ④南鳥島 ⑤沖ノ鳥島	各2
	(2)		⑫	知識理解	○経済水域に定義について記述しているが、具体的な範囲の記述がない。 ・水産資源や鉱産資源を自国のものとする ことができる水域のこと。	2	○経済水域の定義を具体的に範囲を示しながら記述している。 ・各国の海岸線から200海里以内にある水産資源や鉱産資源を自国のものとする ことができる水域のこと。	3
	(3)		⑬	思考判断表現	○領域中の領土面積の割合から日本の特色について記述している。 ・日本は、領土面積は小さいが、経済水域を含めた面積で比べると、領土に対し領域が広いのが日本の領域の特色である。	3	○領域中の領土面積の割合から他国と日本を比べ、日本の特色について記述している。 ・日本は、アメリカやカナダに比べ領土面積は小さいが、経済水域を含めた面積で比べると、領土に対し領域が広いのが日本の領域の特色である。	5
【授業改善の視点】 我が国の領土は、弧状の連なる多くの島々から成り立っていることや、他の国々と国土面積で比較したり領海や排他的経済水域を含めた面積で比較するなど、我が国の海洋国家としての特色を様々な面から取り扱うことは重要である。その際、地形（領土や領海等）を断片的に扱うのではなく、我が国の領域のすべてが示された地図を積極的に活用し、視覚的にとらえ易い工夫された教材を用いた授業を行う。								
3 26点	(1)	①	⑭	技能	○地図から読み取れる地形上の特色を記述しているが、「フォッサ・マグナ」の記述がない。 ・東北日本の山地、山脈は南北に走り、南西日本の山地、山脈は東西に走っている。	2	○地図から読み取れる地形上の特色を記述している。 ・フォッサ・マグナを境に、東北日本の山地、山脈は南北に走り、南西日本の山地、山脈は東西に走っている。	4

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校2年社会 解答及び配点一覧 No. 2

※文章記述については、同じような意味であれば可とする。

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
3	(1)	②	⑮	技能	○グラフから読み取れる日本の川の特徴を、川の長さや速さの面から一方のみを記述している。 ・日本の川は、ナイル川に代表される外国の川に比べて長さが短い。 ・日本の川は、ナイル川に代表される外国の川に比べて大きな標高差を一気に下るため流れが急である。	2	○グラフから読み取れる日本の川の特徴を記述している。 ・日本の川は、ナイル川に代表される外国の川に比べて長さが短く、また大きな標高差を一気に下るため流れが急である。	4
			⑯	関心意欲態度			○住んでいる地域の様子から考えられる自然災害について記述している。 ・考えられる災害：地震、津波、火山の噴火、洪水、高潮、豪雨 等	2
			⑰	関心意欲態度	○防災対策を具体的に記述しているが、予想される自然災害に応じたものとなっていない。	3	○予想される自然災害に応じた防災対策を具体的に記述している。 ・防災対策：地震や津波等に対する避難訓練の実施、災害時の避難場所の確認、安全な通学路の確認 等	5
	(2)	①	⑱	技能			・60	2
			⑲	技能			○人口減少の原因を資料から記述している。 ・出生率が、年々低下傾向にあるから。	4
		③	⑳	思考判断表現	○2つの資料を使って人口の変化について記述している。 ・過密地域は平野部に多い傾向がある。	3	○3つの資料から山間部における人口の変化について記述している。 ・平野部では人口の集中が進み、山間部では人口の減少が著しく進み、全体として人口が減少している地域が広がっている。	5
4	(1)		㉑	知識理解			・A	2
	(2)		㉒	知識理解			・ウ ⇒ エ ⇒ イ ⇒ ア	3
	(3)		㉓	思考判断表現	○2つの歴史的事象の関係性について記述しているが、日本へ来た理由や影響について示されていない。 ・①ヨーロッパで始まった宗教改革に破れたイエズス会は、アジア（日本）に進出したため。 ②大航海時代にアジアへ進出してきたキリスト教徒であるポルトガル人やスペイン人は、日本との南蛮貿易を進めたため。	3	選んだカード： ① 宗教改革とイエズス会 ② 南蛮貿易と大航海時代 等 ----- 説明 ○日本でキリスト教徒が増加した理由を、2つの歴史的事象の関係性や目的から説明している。 ・①ヨーロッパで始まった宗教改革に破れたイエズス会は、布教の場をアジアに求め、布教者であるザビエルが日本に来たため。 ②大航海時代に発見された航路を使ってキリスト教徒であるポルトガル人やスペイン人は、日本と南蛮貿易を進めたため。	5
【授業改善の視点】 我が国の史実を表す資料から情報を読み取る際に、歴史上の出来事を年代や内容等から考察し、その関連性を表現する言語活動を取り入れる。								
5	(1)		㉔	知識理解			・武家諸法度	3
	(2)		㉕	技能	○大名配置にのみ記述している。 ・幕府は、徳川家の一門や家臣である親藩や譜代大名を江戸の近くに、関ヶ原の戦い以降に従った外様を遠くに配置するなど、配置に工夫をこらした。	3	○大名配置の工夫について、その目的から記述している。 ・幕府は、徳川家の一門や家臣である親藩や譜代大名を江戸の近くに、関ヶ原の戦い以降に従った外様を遠くに配置するなど、配置に工夫をこらし、江戸を守ったり、互いに監視させ反乱を防いだりするため。	5

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校2年社会 解答及び配点一覧 No. 3

※文章記述については、同じような意味であれば可とする。

大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
5	(3)		26	思考判断表現	○大名統制と鎖国政策の1つの視点から、大きな戦乱が生じなかった理由について記述している。 ・対外的には、キリスト教の禁止や外交関係と海外情報を統制するために鎖国政策を取り、徹底して大名の統制を図ったため。	3	○大名統制と鎖国政策の2つの視点から、大きな戦乱が生じなかった理由について記述している。 ・国内においては、武家諸法度をはじめとする法律を出し、対外的には、キリスト教の禁止や外交関係と海外情報を統制するために鎖国政策を取り、徹底して大名の統制を図ったため。	5
13点	(1)		27	知識理解			・日米和親（条約）	3
	(2)		28	思考判断表現	○2つの資料から欧米諸国がアジア進出したことを読み取り記述している。 ・資料2からは、欧米諸国が戦争によりアジアに進出し、その勢いを止めることに限界を感じたため。	3	○2つの資料から欧米諸国がアジア進出し、来航したことを読み取り記述している。 ・資料2からは、欧米諸国が戦争によりアジアに進出し、また、資料3からは、日本にもロシアやイギリス、アメリカやフランス船が来航し、もはや、その勢いを止めることに限界を感じたため。	5
	(3)		29	思考判断表現	○関係ある2つの事柄のうち1つの目的が記述されていない、あるいは、違う目的を記述している。 ・③と①により6歳以上の男女すべてに小学校教育を受けさせることにより近代的な国づくりを目指した。等	3	○関係ある2つの事柄を選び、明治初期の日本の動きについて記述している。 ・③により国家の財政を安定させ、①により6歳以上の男女すべてに小学校教育を受けさせることにより近代的な国づくりを目指した。 ・③により国家の財政を安定させ、②により満20歳以上の男子に兵役の義務を負わせ、近代的な軍隊により外国に負けないう国づくりを目指した。	5